

や平和維持活動に関わり、黒人として初めて、ノベル平和賞を受賞しました。

どんな時にも、ラルフさんの心を支えたのが、「信仰と希望と愛」でした。この言葉は聖書の言葉です。

聖書の中に「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つの言葉によって生きる」という言葉があります。人間は神様によって造られました。神様は、私たちが心に支える言葉を持って生きるように造られました。私たちが生きていくために必要なのが「神の口から出る一つ一つの言葉」聖書なのです。

聖書は、神さまから私たちひとりひとりへの神さまからのお手紙です。聖書を通して、本当の神さまを知ることができます。それから、自分の本当の心の姿を知ることができます。そして、神さまに愛されていることを知ることができます。

ある時、一人の青年が自殺を考えました。決めた時間が来たら実行しようとしていました。ところが時計が壊れているのを知らず、寝ていました。時計が壊れていることに気づいた時、考えました。

時計が壊れたら時計屋に修理してもらおう、今の自分は壊れたようなもの、どこへ行けばなおるのかと…

それから様々な宗教に行き、本当の解決を聖書から得たそうです。



あなたの心を支える言葉は、何でしょうか？ 聖書の言葉は、あなたの心を強め、支えます。

昨年6月から毎月第4の日曜日の朝、10時15分～11時15分、本通のケアハウスの3階で「日曜朝のつどい」を開催しています。この集まりを通して、ひとりでも多くの方が、聖書の言葉から励まされ、心が強められ、幸せな日々となる事を願っています。ぜひ、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

長迫グループホームの日常 清水裕貴

トントドントー朝と夕方、グループホームの食堂には叩くような音が響き渡ります。皆さんの洗濯物をしわ伸ばしする作業です。しわ伸ばしは、ほぼ毎日利用者が手伝って下さり、特にこの施設で最年長のSさんは良く手伝って下さいます。一日で出る洗濯物はかなりの量ですが、体調の良い時には手伝って下さり、本人も「できることがあればやるからね」といってもやる気を見せておられます。ーさんも「やることがあるならもってきんさいや」と洗濯物を一緒になってたたみ、しわ伸ばしを手伝って下さいます。それを見て、周りの利用者さんとも一緒になって手伝って下さいます。

朝食、夕食は施設で手作りしています。米とぎ、お盆拭きをする等、できる事をなるべくやっていたり、ただのように、声かけを行っています。日曜日には、手作りお菓子の材料がそろえば手作りお菓子を利用者と一緒作り、材料をかき混ぜたりしていただきます。こうして日常生活動作をみながら行い、それにより利用者同士、利用者と職員同士の交流が生まれ、行き違いはあっても、和気あいあいとした生活をしています。介護職員として、このようないい雰囲気が続くよう、利用者の笑顔を守っていきけるように頑張りたいです。

ハレルヤがテレビで紹介されました！

ハレルヤ管理者の大上望さんが、TSSの番組『君のスピードで～ボくらがつくる未来のカタチ』で紹介されました。



「ひろしまの国保5月号」で特集されました！

政樹会の活動内容や、地域活性化にかける思いについても紹介いただきましたので、是非ご覧ください。



ベタニアのホームページをご覧ください。 <http://www.bethania.or.jp/>

ハレルヤの看板

2月に、ハレルヤ前の老朽化した商店街の屋根が撤去されました。この事で、ハレルヤの前は、とても明るくなりました。

3月下旬に、ハレルヤの玄関前の修繕を行ない、新しく看板を設置しました。看板には、ベタニアのシンボルマークを付けました。新しい看板は、地域の風景に馴染んで来ています。多くの人々に仕え、地域に貢献する施設であることを目指します。今後、より一層お願いいたします。



オンギジャンイ来訪

韓国の賛美グループ「オンギジャンイ」が、5月29日(日)「日曜朝のつどい」スペシャルで、賛美して下さいました。2011年に続いて、二度目の来訪でした。5年ぶりに呉に来ることを楽しみにしていたメンバーもいました。最初から最高のハーモニーを聞かせて下さいました。集われた人々の心に感動を与えました。特に「神さまの約束」という歌は、多くの人々を慰め、力づけました。

